

麻疹風疹混合（MR）ワクチン

（対象年齢 1期：生後12月から生後24月に至るまで（標準：生後12月に達したら出来るだけ早く）
2期：5歳以上7歳未満（標準：小学校入学前の1年間）

麻疹ウイルス及び風疹ウイルスを弱毒化して作ったワクチンです。

麻疹は『はしか』としてよく知られ、予防接種のないころには感染力が強いため、ほとんどすべての子どもが罹患し、年間1万人の死亡数もあったことがある重症感染症です。

また風疹は、麻疹に比べると比較的軽症ですが、近年成人の間で流行し、問題となっています。

病気の説明

●麻疹（はしか）… 麻疹ウイルスの空気感染によって起こります。潜伏期間は約10～12日間で、発疹を認め、高熱を伴います。合併症は約40%に認め、肺炎、気管支炎、中耳炎、脳炎などがあり、脳炎の合併率は患者約1,000人に1～2人の割合で発生します。また亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という慢性に経過する脳炎は、約10万例に1～2例発生します。予防接種を受けずに麻疹にかかった人は、数千人に1人の割合で死亡します。

●風疹… 風疹ウイルスの飛沫感染によって起こり、潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、首や耳の後ろのリンパ節腫脹などが主症状で、眼球結膜の充血がみられる場合もあります。発疹も熱も3日程度で治るので、『3日ばしか』と呼ばれることもあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などがあります。

妊婦が妊娠初期にかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、聴力障害などの障害をもった児が生まれる可能性が高くなります。

接種時期と回数

【1期】生後12月から生後24月に至るまでに1回
（標準：生後12月に達したら出来るだけ早く）

【2期】小学校入学前の1年間に1回

1期接種

2期接種

生後1歳から2歳の誕生日の前日まで

小学校就学前の1年間（4月1日～3月31日）



計2回

※1歳になったら、なるべく早く！

●生後12月末までに任意で麻疹及び風疹のワクチン接種を受けたお子さんについても、1期予防接種の対象年齢に達した場合には、定期の予防接種を受けることが出来ます。

●麻疹または風疹にかかったことが明らかな場合、かかっていないほうのワクチンを用いても、麻疹風疹混合（MR）ワクチンを使用しても差し支えありません。

副反応と注意点

副反応の主なものは、発熱と発疹です。他の副反応としては、接種部位の発赤・腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、

熱性けいれんなどがみられます。

生ワクチンですから、ウイルスが体内で増えますが、予防接種を受けた人から周りの人に感染することはありません。

※法で定められた期間内に接種されない場合は、自己負担となりますのでご注意ください。